

【1年の復習…正の数・負の数】

【1】 次の数を正の符号、負の符号をつけて表しなさい。
(4 × 4 = 16点)

- (1) 0より5大きい数
- (2) 0より13小さい数
- (3) 0より $\frac{2}{3}$ 大きい数
- (4) 0より0.8小さい数

0を基準として、大きければ「+」
小さければ「-」の数になります。

(1)	+5	(2)	-13
(3)	$+\frac{2}{3}$	(4)	-0.8

【2】 絶対値が6より小さい整数をすべて書きなさい。
(8点)



チェック! 絶対値が同じ数は正負
2つありましたね。

※ 絶対値は0からの距離を表している
ので、正、負どちらの数にかかわらず、
6より小さい数がかいとうします。

-5, -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4, 5

【3】 次の数を小さい順に左から並べなさい。
(4 × 4 = 16点)

- (1) -1, -2, -3, -4, -5
- (2) -3, 0, 4, -2, 3
- (3) $-\frac{1}{4}$, 0.5, 0, $\frac{2}{3}$, -0.4
- (4) 2, 0.5, $-2\frac{1}{2}$, -1.5, -3

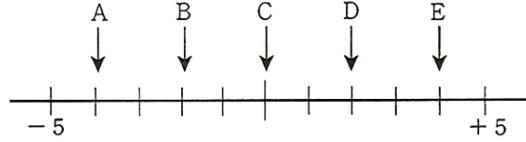
-0.25

0.666...

※ 負の数(-の符号のついている数)は絶対値が
大きくなるほど、小さくなります。

(1)	-5, -4, -3, -2, -1
(2)	-3, -2, 0, 3, 4
(3)	-0.4, $-\frac{1}{4}$, 0, 0.5, $\frac{2}{3}$
(4)	-3, $-2\frac{1}{2}$, -1.5, 0.5, 2

【4】 次の数直線上のA~Eにあたる数を()に書き入れ
なさい。(3 × 5 = 15点)

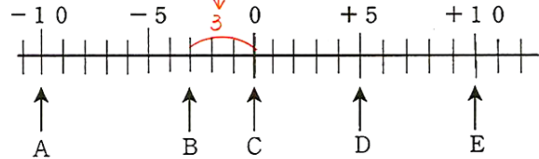


A	-4	B	-2	C	0
D	+2	E	+4		

(2) (4)

【5】 次の数直線上のそれぞれの数の絶対値を答えなさい。
(3 × 5 = 15点)

絶対値は0からの距離を表しています。



A	10	B	3	C	0
D	5	E	10		

【6】 次のことから、-の符号を使わないで表しなさい。
(5 × 4 = 20点)

- (1) -800円の値上げ
- (2) 現在より-2時間後
- (3) -5kg多い
- (4) 東へ-6km

「今日の利益は-25000円だった」というような表現をすることがありますね。これは25000円の損益があったことを表しています。

(1)	800円の値下げ	(2)	現在より2時間前
(3)	5kg少ない	(4)	西へ6km

【7】 A君の数学の今回のテストの点数は、65点を基準にすると、+12点でした。何点だったのでしょうか。(10点)

65点が基準(0)で+12点ならば、
 $65 + 12 = 77$

77点
